

# 2011年(平成23年) NHK大河ドラマ(第50作) (地上デジタル放送開始)

『江』について



江 像

大河ドラマ第50作目の記念すべき作品に選ばれたのが、織田信長を伯父に、豊臣秀吉を養父に、そして徳川家康を義父に持つ戦国の世を波乱万丈に生き抜いたスーパーヒロイン浅井三姉妹の末娘「江」。

二度の落城により父母を亡くし、二度の結婚の後、徳川二代将軍となる秀忠に嫁ぎます。3代将軍となる家光、後水尾天皇中宮となる和子の生母でもあります。

## 略年譜 (NHKホームページより)

- 1573年(元亀4年) 江、生まれる。
- 1573年(天正元年) 父・長政、信長に破れ自刃。  
江ら三姉妹は、母・市とともに、  
信長にひきとられる。
- ※こののち、三姉妹は市とともに、伊勢上野城等で過ごす。
- 1582年(天正10年) 「本能寺の変」信長、死す。  
市、柴田勝家に嫁ぐ。  
三姉妹も勝家の居城、  
越前・北ノ庄城に移る。
- ..... 略 .....
- 1595年(文禄4年) 江、徳川秀忠に嫁ぐ。
- 1626年(寛永3年) 江、江戸にて没す。

江は小谷城落城後、母子で  
伊勢上野城(本城山公園)に  
来て暮らす。  
本能寺の変(信長死す)の時、  
母子は津城にいた!!

伊勢上野城跡(本城山公園)



「伊勢上野城」  
織田信長の弟信包(のぶかね)が津  
城の仮城として、1570年(元亀元年)  
分部光嘉(みつよし)に築かせ、信包  
が、津城に移った後、津城の出城と  
なった。

井戸跡



# 江ごう 〜姫たちの戦国〜 脚本/田淵久美子 に決定!!

大河ドラマは小谷城、  
そして伊勢の国・津からスタートか!?

### ◆父の顔を知らない「江」

時は戦国、天正元年(一五七三年)、小谷(おだに)城清水谷の屋敷で生まれました。父は、小さな戦国大名浅井(あざい)長政。母は織田信長の妹・戦国一の美女とうたわれた「お市の方」でございます。しかし、「江」が生まれて間もなく、信長によって小谷城は落城し、父長政は自害して果てました。「江」は父の顔を知らず、母や長姉「茶々」・次姉「初」によって父の事を聞かされ育っているのです。

### ◆約四百年語りつがれている 母「お市の方」と三人の姫

今、女性達の間では歴史ブームだそうです。特に「お市の方」と長姉「茶々」後の淀殿はあまりにも有名でございます。この母は歴史に残る数奇な運命を辿りますが、大河ドラマの主人公「江」は、徳川二代将軍秀忠の正室になり、三代将軍家光や千姫の母親でございます。詳しくは後日語らせて頂きたいと思っております。

### ◆お市の方と三人の姫は九年間、伊勢の国(現三重県)・津市で暮らしていた。

小谷城落城後、母子(お市の方・長女茶々・次女初・三女江)はまっすぐ伊勢上野城(現津市河芸町上野・通称本城山)に來ます。そこにはおじの織田信包(のぶかね)と祖母土田(とだ)御前が住み母子を待っていました。琵琶湖の水が、お市の方と二人の姉の涙であふれかえり、止まることを知らない涙を流しながら伊勢上野城(現津市)に來た事を「江」は知るよしもなかったのです。お城から眼前にキラキラ光る大きな海を見た時、母子は泣き止んだのではないのでしょうか。そして暖かく接してくれるおじや祖母、家臣や住民がみなで母子をなくさぬはげましたと思われまします。母子水入らずの幸せな九年間が始まるのです。津へ來た時、定かではないのですが、母お市の方二八歳、茶々八歳、初六歳、江は〇歳(赤ちゃん)といわれています。

### ◆大河ドラマ「江」は断トツの視聴率を稼ぐ可能性「大」日本全国の女性が見る!!

この大河ドラマはキーワードがいくつもあります。物理的には、キャッチにもあります様にドラマ放送五〇年目にあたり、そして地上デジタル放送に変わる年でもあります。情感的には、数奇な運命を辿りながらも、悲しくはなくも力強く生き抜き、女の誇りと執念・生き様・様々な人間模様を映し出すものと思われまします。そして何よりも女性が天下を動かしたという躍動感も伝わると思っています。

### ◆「かくれたテーマは、日本という国を救うのは女性!」

三重県を大河ドラマの舞台にしましょう!  
県民の力を合わせて訴えましょう!

「お市 桜花の会」 豊田耕司

特集2

NHK大河ドラマ『江』